

# 磐城日報

発行所 磐城日報社  
電話(一) 二二二  
印刷 印刷局  
毎週水曜日休刊  
一ヶ月三十四日  
一ヶ月三十四日  
一ヶ月三十四日

小児科  
呼吸器科  
内科  
平市古カデ町  
(縣社下)  
後藤醫院  
電話1036

## 炭價昨冬に比し安値 夏相場より百圓高

今冬の全般的な石炭價格決壊(五千百カロリ)二千七磐高バッテリーの重要な材料となる三及百八圓(同三十圓安)○隅田川四半期の六ヶ月間に亘り(五千四百カロリ)二圓の国鉄納入炭落札炭價はこ千九百九十八圓(同三十圓)のほど平石炭事務所、磐城炭(安)という現状で、さらに勢に次の通り入ったが結果これらを平均五千百カロリによれば今夏相場に比し高1で比較すると昨年十月の値とはなつてゐるが昨冬十一月納入炭價の百圓安、場より百三十圓および百三十二月一月では百三十圓の調子では朝鮮復興というの安となつてゐる、これら折角の好材料を迎えながら落札結果から今冬相場は朝その割合に高値には賣れな 鮮復興による国内産業用炭いのではないかと各ヤマでの需要増など目先き良好なナヤんでゐる、落札結果材料にめぐまれながら悲觀は○常磐人山特塊(五九〇)の一般的に一應ネ上りを(カロリ)で三千五百二見せても今夏の百圓高程度十六圓(一四半期に比べ)に止まるのではないかと見十五圓の安値)○勿來特中られてゐる

## 磐高、川俣に惨敗

### 四点リードさる

縣高校野球連盟主催の縣下あげれば、磐高よく打ち選抜野球大會第二日は昨午四点を獲得した、しかし日と同様好天候に恵まれ白二回戦表川俣の攻撃凄じく球を追つての息詰る大熱戦七点をポイントされたのが展開された、第一試合は致命傷となり川俣に凱歌が響高對川俣の組合せとなり上つた

磐高 4000020017  
川俣 2702000000

一區区内對抗軟式野球大會用いる水は山のふもとを来る十四、五の兩日平工これを見ても如何に水不足平商兩グラウンドで開く申込であり難工事であつたが愚書に参加料三百圓を添え十ばれる、勝爲公は四十二才日まで三十米道路大塚運動の年令をもつて他界された具店まで

## 自轉車盗まる

平市三丁目三〇履物商小松三造さん(三〇)方では去る六日午後六時から七日前六時までの間に自家車庫内に置いた中古自轉車一千圓相替り盗まれ、市署に届出た

## 澤村神社祭り

### 勝爲公の功績をしる

澤村神社祭りは、三百年有余の歴史をもつた、當時の水飢饉を嘆き泉野村下神谷岸地内の澤村崎光明寺住職順僧の詠ん七十七銀行前路上で上衣左神社祭禮は今日から三日だ歌に「名には似ぬ、泉崎 胸ポケットから現金六百五圓舉行される、同神社の由にて水に飢え、實のらぬ村十圓、印鑑二ヶ入の財布を來は昔(明治年間)水利に恵の寺に淋しき」また「稻のすられ市署に届出たまれば農民の勞苦を察し、内藤侯の家臣知五百石をむ澤村勤兵衛勝爲公が人を勵まし晝夜兼行、三年三ヶ月間の長期間に亘つて山を切り開き、現在の小川、四合間に幅四間長さ六里に餘る小川江筋の灌がい工事完成、一千五百町歩にわたる水田を早ばつから救つた、その功績を讃えるために守護神勝爲公を祀つてある、尚工事には難關に堪えかね相當の犠牲者も出し

## 平で開廷はマツピラ

### 市會協議會で陳情

本市では平事件公判が地裁しいとの決議文を最高裁平支部で開廷される氣運が判所に陳情することになつ濃厚となつてきたので、こた、理由敬遠としてはアアを回避しようとする十一レ者及び共産分子が公判廷日午後一時から市役所會議に詰めかけ平市を再度喧騒室で市會協議會を開き「公させるとの懸念からの處置判は地元で開廷しないで欲であり決議文は決議と同時に

## 平保健所で

### 痲藥盗まる

平保健所では去る六日藥品倉庫内の備品調べを行つたところ、痲藥類が箱ととも盗まれてゐるのを發見、市署に届け出た、痲藥はモルヒネ、ナルコポンの注射薬約五十本のほかモルヒネ劑など十グラム、計一万五千相當で他のものには觸れな形跡はないところから内部に通じた者の仕業ではないかと見ている

## 特別貯蓄運動

推進懇談會  
縣貯蓄本部主催の平支部經濟自立促進特別貯蓄運動推進懇談會は来る十二日午後一時から公會堂日本間で開

## 麥供出

促進協議會  
石城地方事務所では九日午前九時から同會議室で本年度麥類の緊急供出協議會を開き強力な麥の供出促進運動の展開を協議する

## 測量技術講習會

石城地方事務所では九、十一、の三日間縣耕作課鈴木、佐藤兩技師を招き泉村公民館で市町村農地委員會書記並びに委員の測量技術講習會を開く

ライオンキ  
外国製食品にも劣らぬ品質!  
文堂  
万年筆用特許  
馬山商店  
平市三丁目  
横山商店  
電話九四番

めん製粉 製めん  
自信ある品質  
スダノ澤  
永島製麵所  
工場平市古鍛冶町 33  
電話1094番  
出張所平市田町 58

皆様の家具の店  
婚禮期が近づきました  
陳列小賣部新設  
タンス 鏡台  
椅子 テーブル  
自家製造販賣  
御用命は電四六四番へ  
ヨロシ  
伊東家具店  
營業所 平市新川町  
工場 平市大町29・30

鶏肉=川魚  
新鮮兎肉  
を始めました  
兎肉百匁70円  
大勉強で評判  
平市白銀町  
長谷川鳥肉店

# 八度も命拾いの坑夫

## 事故は落盤がトツプ 被災回数調査結果

岡山保安監督部平支部の昨炭車によるもの二回が九月四月から本年五月までに八名、三かゝり十名となつて同一人が反復した被災回数、また自己の不注意で調査によると被災二回が千轉倒や踏破きなどを一かゝり五百五十七名、三回が三百したものは二度と繰返した九十六名、四回が百二十二名のはなかつた、この間に七回、八回各一名となつて常磐神山礦探炭夫青原由次あり事故原因は落盤、落石(21)で主に落石による側壁崩壊によるものがトツプの災害が多く炭車事故は二アを占め、二回被災した人もあつたが、いづれも命拾ひの三百九名、三回七十一名をして、四回九名、五回二名次いで

# 戦後最高の貯炭

## 各ヤマ悲鳴をあげる

去る一日常磐炭輸送会議で部石炭協會長岡専務、平石十月分配車数は二十七万ト、炭事務所鈴木所長はじめ各山の出炭計画に基き一礦代表者は一日以來連日、日當り五百六車平きん十七日、四回、四回、四回、四回、二トと決定したが實際に増車を陳情中である

# 「火遊びは坊やの家を灰にする」

## ささようから防火週

元検査、座談會(夜) 十日、學校講演(三中午後一時半)、特殊建造物豫防査察、市内映画館宣傳(夜間) 十一日、學校講演(二小午九時、四小午十時半) 防火座談會(たかつき保育園) 十二日、學校講演(六小午

前十時)座談會、城山會館(映畫宣傳) 十三日、學校講演(三小午十時半、五小午後)座談會(立町稻荷神社) 十四日、署内開放、座談會(北部地區) 講師には井上消防署長及び鈴木司令が當る、また最終日の十四日は午前九時から一、二、三各小學校から、二十名の生徒を選抜し少年消防隊を組織、各學校を對象として遊學勤務、通信要項、出動、放水演習など消防署の實習を行う

市署に逮捕さる 七万円の詐欺 平市署では去月七月七日平市才植小路五常磐石炭株式會社代表社員高山弘氏告訴の平市材木町九材木商クマ川仁治(30)を詐欺容疑で六日午後八時十分ごろ自宅で逮捕した、同人は六月十九日自宅で高山から千圓收入紙七枚の換金依頼され「一時間後に現金化してやる」と騙り同收入紙を詐取したとの

山梨縣北巨摩郡中田村中條一三八生れ住所不定無職塚田ユキ子(39)さんは六日常磐線より二二二列車に仙合から無札で乗車し車掌に発見され平驛で下車せられたが七日午前一時五十分ごろ平驛待合室改札事務室側椅子ですえみん、子供服など衣類十八点、主食配給通帳、移動證明書、保険通帳六冊入りのリュックサックを盗まれ平公安室に届出た、同人は一文なしの上、更に六才の女を頭に三人の子供をかゝえ途方に暮れている状態が公安官は市社會課に連絡、日立までの旅費及び食パン十個の給付を受け、七日午前十一時十分常磐線上市車で離平した

福島興國ゴム工業株式會社代理店  
業界最高の品質!!  
**巨人印 ゴム靴**  
平五丁目 袋屋本店  
電話 516

泌尿器科 性病科  
眞木醫院  
南町公會堂通り  
電話 一九五番

土建請負業  
**丸石組**  
責任者 石山一治  
平市材木町 電話四五四

最古の店史  
最新の技術  
パンは 平五丁目 開花亭  
電話 342

寒さの御用意に  
實用屏風  
★特上障子紙、襖紙各種  
入荷致しました  
百貨平市六丁目  
問屋電 四八五番

秋冬の注文洋服  
**良渡邊洋服店**  
平市二丁目紅小路  
電話 九五七番

酒の店 五丁目 吉田屋 支店  
新鮮な お魚を  
食膳には  
**丸市屋**  
平市四丁目 電話二一三

燃料の需要期に  
御用命は……  
**市原商店**  
薪炭 棒炭 煉炭  
平・紺屋町 電話二二四四番 倉庫四九九番

家屋審査委員認可住發 第五二七號  
建設大臣登録番(イ)第一五二二號  
土木、建築、設計、施工  
岩田式Z型コンクリート、ブロック  
株式會社 **岩田建設工業**  
社長 岩田國吉  
本社 石城郡植田町 電話(植田)五二  
所長 片寄孝平  
平出張所 平市大町一五  
電話 四二二六